

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|----------------|-----|--------|-----------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービスさかいで | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年3月1日 | | ～ | 令和8年4月30日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 26名 | (回答者数) | 26名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年4月1日 | | ～ | 令和8年4月30日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6名 | (回答者数) | 6名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年5月25日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 指導訓練室や多目的室などの活動スペースが非常に広く、利用者が安心してのびのびと過ごせる環境が整っています。十分な広さを活かし、個別・集団のどちらの活動にも柔軟に対応できています。 | 活動内容に応じて部屋を分けて空間分離を行い、運動室・休息室・学習室を使い分けて、利用者が安心して過ごせる環境を整えています。また、特性に合わせた感覚刺激調整や気持ちの切り替えを支援し、集団活動と個別支援が両立できるよう工夫しています。積極的に運動活動を取り入れ、楽しみながら参加できる環境づくりに努めています。 | 年齢や発達過程に応じた内容を取り入れ、体の使い方やバランス感覚を育む運動や協力活動を組み合わせることで、一人ひとりが無理なく楽しみながら参加できるプログラムへと発展させていきます。活動環境が広いことから、エリアごとの見守り体制や情報伝達の強化に努めています。 |
| 2 | 異年齢・異学校の利用者同士が安心して関わることができる環境をソフト・ハード面の双方から工夫・設定しており、各種の活動を通して互いに学び合い、協力し合う姿が見られます。 | 声かけや関わり方を工夫し、年上の利用者がリードしやすく、年下の利用者が安心して参加できる雰囲気づくりを意識的にを行っています。利用者自身が選べる選択活動を取り入れることで気持ちが安定し、同じ活動を選んだ利用者同士の自然な会話や協調が生まれ、交流の広がりを育てています。 | 選択活動の種類やツールを広げ、興味や得意なことを共有しやすい環境を整えることで、会話や関わりが生まれる機会をさらに増やしていきます。楽しい雰囲気づくりや、ゆとりを持った時間設定を意識することで、利用者同士が安心して交流できる場面をさらに広げ、社会性の向上につなげます。 |
| 3 | 同じ建物内に生活介護事業所を併設していることで、将来のサービス移行を見据えた連携が取りやすく、利用者・家族にとって安心感のある環境であります。また、法人として幅広い障害福祉サービスを展開している強みを活かし、県内の学校や関係機関、相談支援事業所等と良好な関係を維持しています。 | 生活介護への移行時には、支援方針の確認などタイムリーな引き継ぎを行うことで、利用者が安心して次のステップへ進める体制を整えています。また、特別支援学校での公開授業や研究発表等へ積極的に参加し、学校の実践や支援方法を学び、事業所の支援にも活かすよう意識的に取り組んでいます。 | 自立支援協議会等への参加を通して地域の支援体制や最新の取り組みについて学び、事業所内で共有しながら支援の質の向上につなげていきます。加えて、特別支援学校の公開授業や研究発表等への参加を継続し、学校の実践を参考にしながら、利用者一人ひとりの成長に応じた支援の充実を図っていきます。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 活動プログラムが常習化しやすく、個々の興味や特性に合わせた活動の提供が十分に行えない場合があります。 | 季節行事や屋外活動などのイベント企画については、利用者が希望して参加しており、楽しみにしている様子が見られます。普段の活動は利用者により選択していただいています。単調にならないよう、教材や活動ツールを更新していますが、未経験や苦手意識のある活動には消極的な利用者が多く、新たにチャレンジすることを避けて既存活動を選択されることが多いのが現状です。 | 未経験の活動や苦手意識のある活動について、事前に内容やルールを丁寧に説明し、見通しを持てるようにすることで前向きに参加しやすい環境を整えます。発達段階によって支援の重点が変化する中で、特に中高生に向けては自立支援の視点をより明確に取り入れ、将来の生活に結びつく活動や役割を意識した支援を進めていきます。また、外部専門機関や有識者と連携し、専門的な知識を取り入れながら支援の質を高めていく体制づくりにも取り組んでいきます。 |
| 2 | 非常時マニュアルの策定やそれに基づく訓練は実施しているものの、保護者への説明や情報共有が十分に行き届いていない状況があります。また、発生を想定した訓練についても、保護者が把握しにくい点が課題となっています。 | 非常時マニュアルは事業所内に掲示し、いつでも閲覧できるようにしているほか、各災害ごとの避難訓練も計画的に実施していますが、訓練当日にご利用のない利用者も多く、取組みの様子をおたよりや会報で発信しているものの、訓練の詳細について全ての保護者が把握できる情報発信とはいえない状況であることが要因と推測しています。 | 利用者参加型の避難訓練・感染症対応や緊急時対応に関する職員向け研修についても取組み内容や実施状況については、おたよりや会報、掲示物などを通して保護者へ分かりやすく発信し、情報共有の充実を図っていきます。さらに、保護者が訓練や研修の目的・内容をより理解しやすいよう、面談等の機会に説明をします。関連情報の配布・発信については、特に改善を進めていきます。 |
| 3 | 家族向けの支援プログラムや研修・情報提供の機会がまだ十分に整っておらず、保護者同士やきょうだい児同士が交流できる場も少ない状況にあります。 | 保護者向けのプログラムを企画・実施するための時間や体制を十分に確保しにくい現状であり、また、家族支援プログラムに関する知識や経験が職員間だけでは十分とはいえない状況であるため企画に踏み出しにくい点が要因となっています。 | 現時点では保護者会の設置については予定していませんが、今後、家族支援プログラムに関する知識や技術を高めるため、職員研修の充実や外部機関との連携を進め、企画・運営が円滑に行える体制づくりを図っていきます。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | 放課後等デイサービスさかいで | | | | | | 公表日 | 令和8年5月27日 | | |
|----------------------------------|---|---|---------------|-----|-------|-------|--|--|--|--|
| | | | | | | 利用児童数 | 26名 | | | |
| | | | | | | | 回収数 | 26枚 | | |
| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 26 | | | | ・広いスペースで体を動かさせていただきありがとうございます。 ・見学時やたまにむかえなどで施設内をみた時に思いました。 ・利用日はとても楽しく過ごせています。 | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 24 | | | 2 | ・自分の子は手はかからないほうだと思うのでよく分からない(言葉で伝えられるので) | 配置基準を十分に満たしています。個別支援が必要となる場合は職員が柔軟に対応していきます。 | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 24 | | | 2 | ・あまりみていないのでわからない。 | 保護者が実際の活動環境を把握しやすいよう、活動写真や環境整備のポイントをおたより等で発信します。必要に応じて見学の機会も検討していきます。 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 25 | | | 1 | ・あまりみていないのでわからない。 ・スペースが広く、体も動かしやすい。気持ちが崩れた時にクールダウンしやすい。 | 清掃と各箇所の消毒を毎日行っています。活動内容や心身のコンディションに応じて活動空間を使い分けています。 | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 22 | 4 | | | ・専門性、5年先を見て成長できる、生活できる、自立できるプログラムを。 ・日々丁寧に支援して頂けている。困り事についてはよく考えてくれ、色々な方法を試してくれている。 | 身辺自立・生活スキル・社会性の向上につながる活動を計画的に取り入れ、5年先を見据えた成長につながる支援内容を明確に示していきます。 | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 25 | 1 | | | | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。 | 25 | 1 | | | | | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 23 | 2 | | 1 | | 放課後等デイサービス計画における本人支援・家族支援・移行支援のねらいや具体的な支援内容を、より分かりやすく説明していきます。 | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 24 | 2 | | | | ・今の所、極端にいやがることなく過ごしているようなのでよいかと思います。 | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 22 | 2 | | 2 | ・連絡ノートとかをみている事や活動がパターン化されつつですが、家でも新しいこともしていきたいです。 ・季節に応じた行事などしてくださいるので、大変ありがたいです。 | 利用者の興味や課題をしっかり把握し、創作・運動・生活スキル・SSTなど多様な活動を組み合わせ、ステップアップにつながる経験を取り入れていきます。 | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 11 | 6 | 3 | 6 | ・地域交流や野外活動に参加したことがなく、本人もあまり積極的ではないので分かりません。 ・特に希望しない。 | 放課後児童クラブ等の交流については計画していませんが、地域のこどもたちと交流を図れるよう、近隣公園等を利用します。 | | |
| 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 25 | 1 | | | | | | | |
| 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 26 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|----------|----------------------------|--|----|---|---|----|---|--|
| 保護者への説明等 | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 13 | 4 | 4 | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修会や勉強は聞いたことないです。 ・保護者が参加したことがないのであれば、同じ保護者の方とも情報交換したいです。 ・まだ参加していません。 | 外部講演・自治体の発達支援情報・相談窓口などを定期的に紹介していきます。外部専門機関と連携し、職員がペアレントトレーニングについて学び、今後の家族支援に生かしていきます。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 24 | 2 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートを使って小さい事でも伝達できてると思います。 ・子どもの体調についていつも気にかけてくださっています。 | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 20 | 4 | | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に面談はないような気がします。 ・連絡ノートを使って小さい事でも伝達できてると思います。 | 希望に応じた個別相談の受付や電話・LINEでの相談にも引き続き対応し、こどもの変化や成長を分かりやすく伝えていきます。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 25 | 1 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノートを使って小さい事でも伝達できてると思います。 | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 4 | 6 | 4 | 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・聞いたことがないのでわからない。 ・保護者自身が参加してないので良く分からないが、物産などのショップにみに行っただことはある。 ・まだ参加していません。 | 父母の会を設ける予定は今の所ありません。外部イベント等の情報提供は継続します。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 22 | 2 | | 1 | | 利用契約時に苦情・ご要望受付について説明をしています。ご意見があればすぐに対応します。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 25 | | | 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・いつも助かっています。ありがとうございます。 | 利用者には視覚支援ツール等で情報伝達しています。保護者への情報伝達は連絡ノートやLINEを活用しています。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 20 | 3 | | 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・通信などで、いろいろ知れありがとうございます。 ・前半に書いてある事はそう思うが、後半は分からない。 | 毎月「法人の会報誌」と事業所の「おたより」にて発信しています。自己評価結果はホームページより発信しています。 |
| 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 23 | 1 | | 2 | | 個人情報保護法に沿って今後も十分注意して取り扱います。 | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 19 | 2 | | 5 | | マニュアルは事業所内に掲示しています。マニュアルに基づいた訓練内容や対応方法をおたより等で発信し、家庭とも共通理解が持てるよう情報提供の方法を改善していきます。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 20 | 1 | | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが利用している時に、訓練の日は当たっていません。 | 消防総合訓練、地震想定避難訓練、高潮洪水想定避難訓練を継続して実施します。 |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 24 | 1 | | 1 | | 安全計画を更新毎に事業所内に掲示・配布して、取組内容について周知します。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 23 | 1 | | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・事故した事が無いのでわかりません。 | 事故発生防止・対応マニュアルに沿って、保護者に速やかな連絡・状況説明を継続します。 |
| | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 26 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・行くのを楽しみにしています。 ・初めての事にも挑戦できるようになりました。 ・最初の固い表情はないのでふつうだと思います。 ・大好きです。 | 安心できる環境を継続して提供できるように、支援体制や環境づくりを維持・強化します。また、ご家族に行事や日々の様子を写真や記録で伝え、お子様の楽しみや成長を感じられるよう情報提供を充実させます。 |

| | | | | | | |
|-----|----|--------------------|----|---|---|---|
| 満足度 | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 24 | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者さんに会えるのを楽しみにしています。イベント等、楽しみにしています。 ・行事をとて楽しみにしています。 ・毎日行きたいといつも言っています。 ・毎回カレンダーをチェックし、利用日を楽しみにしています。 | <p>今後も安心して参加できる雰囲気づくりを大切に、活動内容の工夫や支援のアプローチを見直ししながら、利用者がより楽しく過ごせる環境づくりを進めていきます。また、自己肯定感の向上や社会性の育成につながるよう、継続して支援に取り組んでいきます。</p> |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 26 | | <ul style="list-style-type: none"> ・体調が悪くご迷惑おかけする事も多いですが、いつもありがとうございます。 ・成長してる姿がみられてうれしいです。もっと自信をもっていい所をのぼしてほしいです。 ・LINEで色々やり取りさせて頂いています。 ・親も子も助かってます。 ・支援に感謝しかありません。 ・男性職員はありがたい。 ・子どもをあたたく見守ってくださり、大変感謝しております。 | <p>より満足していただける事業所を目指し、お子様の日々の様子や気持ちに丁寧に寄り添いながら、得意な面を伸ばすとともに、苦手な部分にも無理なく取り組めるよう支援の質を高めていきます。また、変化や取り組みの様子がご家族に伝わりやすいよう情報共有を行い、安心して活動に参加できる環境づくりを進めていきます。</p> |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 放課後等デイサービスさかいで | | 公表日 | | 令和8年5月27日 | |
|---------|----|---|----|-----|--|--|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | | 指導訓練室や多目的室など活動スペースが広く、アクティブな活動を取り入れる等、環境を有効に利用していただいています。 | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6 | | 配置基準は満たしています。 | 配置基準を十分に満たしたうえで、個別支援が必要となる場面は職員が柔軟に対応していきます。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | 2 | 階段や段差などつまずきやすい箇所には、利用者が気づきやすいよう絵や視覚的な表示を貼り、安全に移動できるよう環境整備を行っています。 | 表示が見慣れてしまい注意が向きにくくなる場面もあるため、レイアウトを定期的に見直し、より意識が向くように更新します。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | | 学習スペース・運動等活動によってエリアを分けて安心して過ごせる環境を整えています。 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | | 特性や状態に応じて、個別の部屋を使用できるよう環境を整えています。気持ちの切り替えや休息が必要な場合に無理なく移動できるようにしています。 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 6 | | 日々のミーティング等適宜全職員で情報共有を行い、その都度改善に努めています。 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | 年度ごとに保護者向け評価表を実施し、保護者の意向や要望を把握する機会を設けている。ご意見は職員間で共有し、支援内容や業務改善に反映している。 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | 日々のミーティングを通して、職員の意見を共有する機会を設けています。支援方法の見直しや環境整備など、業務改善にその都度反映しています。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 6 | 現在の所、外部評価の実施または予定はありません。ご家族・見学者等に評価していただくアンケートを実施しています。 | 今後も外部の皆様へのアンケートを継続し、様々なご意見を事業に活かしていきます。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | | 外部研修及び部内研修等への全職員参加を推進していきます。 | 専門性の高い研修への参加し、福祉の動向や利用者のニーズに応じた知識習得に取り組みます。 | |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | | 令和7年1月に支援プログラムを作成し、ホームページに公表しています。 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 6 | | 利用開始時および定期的にあセスメントを行い、ニーズや課題を把握して計画に反映しています。また、相談支援専門員や学校の先生方とも情報交換を行い、支援に活かしています。 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | | 放課後等デイサービス計画の作成にあたっては、ケース会議で全職員が意見を出し合い、より良い支援となるよう配慮しながら検討しています。 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | | 計画を職員間で共有し、一貫した支援が行える体制を整えています。また、日々の支援内容を記録し、その評価を計画の見直しや支援の改善に活かしています。 | 職員の経験値に差があることで支援の進め方にばらつきが見られることがあります。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | | 一定のシートを使用しています。日々の行動観察や家族からの情報を踏まえた内容を反映しています。 | | |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|---|---|---|---|
| 適切な支援の提供 | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | | 本人支援（5領域）・家族支援・移行支援・地域支援・地域連携を踏まえながら、目標・支援内容を設定しています。 | 事業所の運営方針と各領域とのつながりはあるものの、支援のねらいが日々の活動内容に反映する際に具体性が不足する領域があり、支援の意図が十分に伝わりにくい場合があります。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | | ご本人・ご家族の希望を最優先し、個別支援を軸としてチームで立案しています。 | 年齢によって支援の重点が異なる中で、特に中高生に向けた自立支援の視点を、より具体的にプログラムへ取り入れることが課題となっています。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | 1 | 活動が単調にならないよう、教材や活動ツールを随時更新し、こどもたちの興味や発達段階に合わせた新しい内容を取り入れています。 | 普段のプログラムについてはご本人の希望と自己選択を大切にしているため、固定傾向があります。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | | 活動ツールを随時更新したり、季節行事や屋外活動を取り入れたりすることで、個別活動と集団活動の双方で成長を促せるようにしています。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | | 全スタッフで事前ミーティングを行っています。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | | 情報共有すべき連絡事項等、即時LINEや口頭で常に全職員が情報共有しています。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | | 正確に記録を行い、児童発達支援管理責任者が支援の検証や改善につなげています。 | |
| | 23 | 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | | 定期的なモニタリングを行い、その結果に応じて放課後等デイサービス計画を見直しています。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。 | 6 | | 4つの基本活動を基盤とし、利用者の特性や興味に応じて複数の内容を組み合わせて支援を行っています。個別活動と集団活動のバランスを調整しながら、幅広い経験が得られるよう取り組んでいます。 | |
| 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 6 | | ご本人の希望に基づく選択活動とし、自分で選び決める経験を大切にしており、主体性や自立につながる力を育てられるよう取り組んでいます。 | 既存活動への意欲が高まらない際に、過ごし方に迷う場面が見られることがまれにあります。活動の選択肢や代替案の提示方法について、より工夫や見直しが必要となっています。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | | 児童発達支援管理責任者が必ず参加しています。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | | 教育機関と継続的に連携し、サービス担当者会とは別にオンラインでの支援会議に参加するケースもあるなど、情報共有を積極的に行っています。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 6 | | 学校への送迎時、ご本人の様子や部活動による下校時間の変更等について担当教諭と情報共有をしています。行事予定については、主にご家族より情報を頂いています。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 6 | | 相談支援専門員を通じてサービス担当者会に参加された際に行い、こどもの特性や支援上の配慮点を共有しています。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 5 | 1 | 主に担当相談支援専門員を通じて情報提供を実施しています。併設事業所への移行ケースは、これまでの支援内容や特性・配慮事項を事業所内で情報共有しています。 | |
| 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 6 | | 現在までに必要性はありませんでした。 | 必要に応じて連携し、助言や研修を受けられる体制を整えていくことが今後の課題となります。 | |

| | | | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|---|---|--|--|
| 携 | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 5 | 放課後児童クラブや児童館との交流はありませんでしたが、近隣公園等を利用時に地域のこどもと交流することはあります。 | |
| | 33 | (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 | 6 | | 児童発達支援管理責任者が参加しています。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | | 利用日のお迎えや送迎時に情報交換したり、連絡ノートを通じて日々共通理解を深めています。 | 自主通所者は家族と直接のやり取りが少ないため、LINEや電話連絡等を用いて細やかに情報共有を行い、共通理解を保つよう努めています。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 5 | 1 | 外部機関研修・講演案内を適時情報提供しています。電話や面談、送迎時を通じて個別にご家庭での不安や困り事に対して相談援助を実施しています。 | 外部機関の協力を得ながら、必要に応じて家族向け支援の情報提供を行っています。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | | 利用契約時、利用契約書・重要事項説明書等の必要事項について丁寧に説明を行っています。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | | ご本人やご家族のニーズ、今後の方向性を把握するために、アセスメントに時間をかけています。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 6 | | 計画内容の説明を行い、同意を得ています。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | | 随時ご相談に対し、助言・支援を実施しています。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | 6 | | 父母の会はありません。令和7年度はきょうだい同士で交流する機会を設けておりません。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | | | 令和7年度も苦情の連絡はありませんでした。ご意見があればすぐに対応します。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | | 毎月「法人の会報誌」と事業所の「おたより」を発信しています。外出や行事等で通常と異なる日課となる際には、事前に視覚スケジュールを作成して保護者へ渡し、利用者が安心して参加できるよう見通しの共有に努めています。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6 | | 十分留意した上で取り扱っています。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | | 利用者には視覚ツールで情報を伝えていますが、保護者とは連絡ノートやLINEにて情報共有しています。 | |
| 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 5 | 1 | 地域の自主防災組織にと連携し、令和7年度は花植え企画を合同開催しました。また、津波想定避難訓練に参加しました。 | | |
| 非 常 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | | 職員への各マニュアル周知、及び一部訓練を実施しています。 | 保護者がマニュアル内容を把握しやすいよう、マニュアルに基づいた訓練内容や対応方法をおたより等で発信し、家庭とも共通理解を持てるよう情報提供の方法を改善していきます。 |
| | 47 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | | BCPを策定し、諸災害毎の避難訓練を実施しています。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 6 | | 服薬の情報や受診結果等を保護者から情報提供して頂いています。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | | 利用契約時に、既往歴・服薬情報などを確認しています。てんかん発作については、対応方法を保護者に確認し、職員間で情報共有し安全に配慮した支援を行っています。 | |

| | | | | | | |
|-----------------------|----|--|---|--|--|--------------------------------------|
| 時 等 の 対 応 | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | | 安全計画に基づき、設備や備品に不備が見つかった際には速やかに修繕・交換を行い、安全な環境づくりに努めています。また、屋外活動時には事前に危険箇所の確認を行うなど、安全管理に配慮しています。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | | 安全計画に基づく取組内容は事業所内に掲示し、閲覧可能な状態にしています。 | 毎年更新している安全計画の取組内容をおたより等でも発信するようにします。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | | 「ヒヤリハット事故報告書」を軽微な事案でも作成し、その都度全職員で検討・対応しています。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | | 事業所において部内研修を実施し、また外部研修参加も推進し、適切に対応しています。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 | | 身体拘束がやむを得ず必要となる場合については、事業所としての判断基準を定め、保護者には事前に十分な説明を行い、了解を得た上で放課後等デイサービス計画に記載しています。 | |